

ようこそ鎌倉へ



鎌倉市環境部

鎌倉のごみ減量をすすめる会

平成25年11月29日
於：鎌倉生涯学習センター

鎌倉のごみ減量をすすめる会

鎌倉市の要綱に基づいて、市と市民と事業者が協働して、鎌倉市のごみの発生抑制、ひいてはごみ焼却量の削減を進めることを目的に、平成23年(2011年)11月に発足しました。

具体的には以下の活動を行っています。

- (1) ごみの発生抑制及びごみ焼却量削減に関する実践活動
- (2) ごみの発生抑制及びごみ焼却量削減に関する啓発及び周知活動

鎌倉市の地理



鎌倉市の面積と人口

鎌倉市の人口		三鷹市	鎌倉市の面積		三鷹市
人口	174千人	187千人	総面積	39.6 Km ²	16.5 Km ²
世帯数	約74千世帯		市街化調整区域	13.8 Km ²	
			風致地区	21.9 Km ²	
			歴史的風土保存	9.8 Km ²	

鎌倉市の財政

平成25年度歳出予算 580億円

	民生費	衛生費	労働,農水 商工,観光	土木費	消防費	教育費	公債費	その他
	199億円	67億円	13億円	89億円	26億円	65億円	44億円	11億円

平成25年度歳入予算 580億円

	国庫 支出金	県支出金	市債	交付金 譲与税等
	68億円	28億円	28億円	109億円

平成24年度市税内訳(合計:346億円)

	法人市民税	固定資産税	都市計画税	その他
	18億円	130億円	33億円	6億円
	5%	38%	10%	2%

鎌倉市のごみ排出量

	現状 (H23)		H27年度の目標値	
	鎌倉市	三鷹市	鎌倉市	三鷹市
総排出量(事業系含む)	69.0千トン	48.9千トン	60.7千トン	48.6千トン
人口	177千人	177千人	175千人	183千人
一人一日当たり	1,063グラム	756グラム	948グラム	725グラム
総排出量(生活系だけ)	49.5千トン	42.7千トン		
一人一日当たり	763グラム	660グラム		

鎌倉市のごみ焼却量

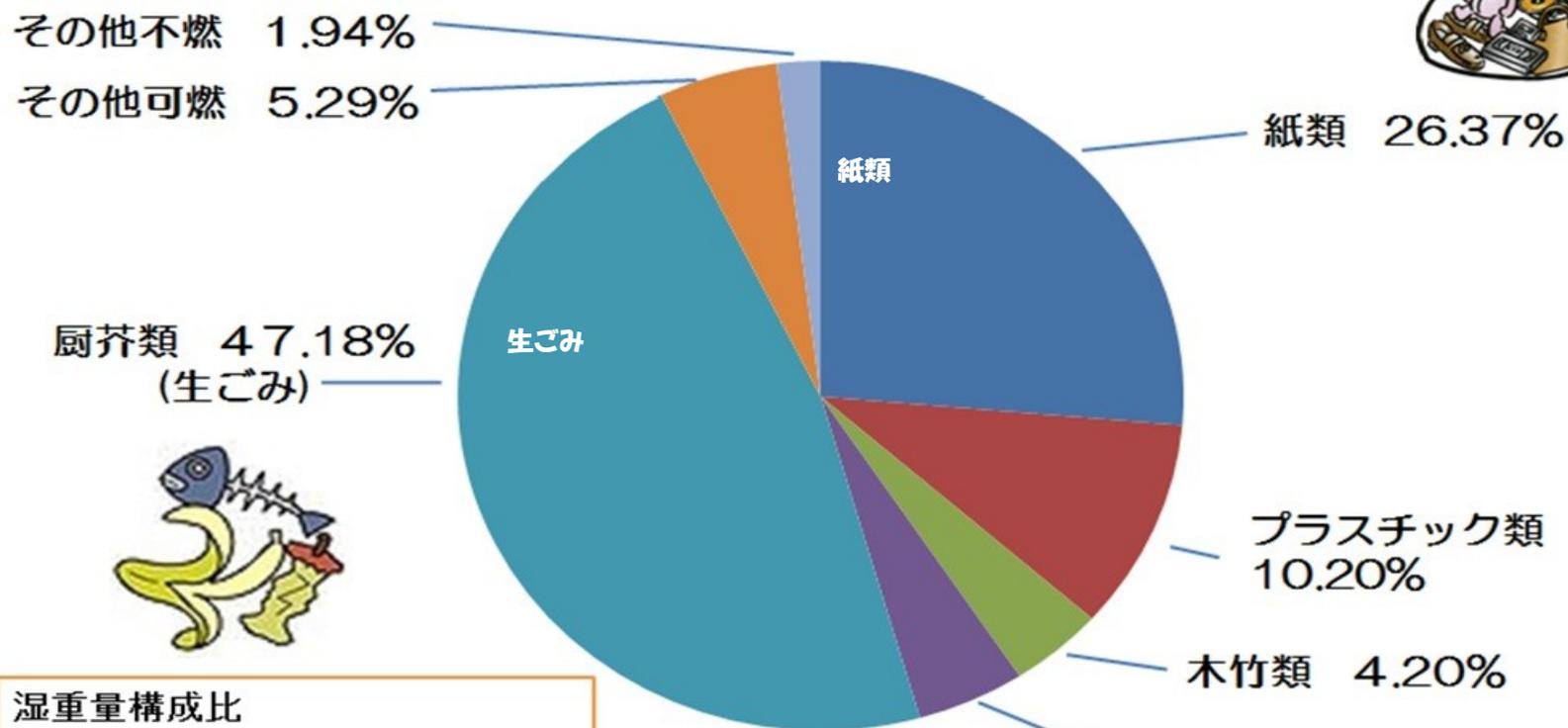
鎌倉市のごみ焼却量			
(トン／年)	H23年度	H25年度	H27年度目標
家庭系	25,905	25,733	20,435
事業系	13,648	11,673	9,488
合計	39,553	37,406	29,923

(参考)三鷹市の焼却量		
(トン／年)	H19年度	H22年度
定期収集ごみ		22,531
直接搬入ごみ		5,261
リサイクル処理残渣		721
合計	34,898	28,513

鎌倉市H25⇒H27
排出量削減目論見

家庭系の戸別収集・有料化	…	3,500トン
事業系の分別徹底	…	2,500トン
事業系の手数料改定	…	500トン
家庭系の発生抑制	…	1,500トン

平成23年度 家庭系ごみ「燃やすごみ」組成調査



湿重量構成比

※資源物割合とは異なります。
(例:紙類にはミックスペーパーや新聞紙とともに、
汚物を拭いたティッシュペーパーを含みます。)

鎌倉市のごみ問題への対応

- リサイクル率の向上に取り組んできた結果、燃やすごみに占める生ごみの比率が凡そ5割に達した
- 残りの5割のうち凡そ半分を紙ごみが占めている
- 最後に残る25%のうち、20%はリサイクルの対象
- 事業系ごみが燃やすごみの3割以上を占める

私たちにできること

- ☆ 多大なコストを要するリサイクルから、ごみを発生させない生活への転換をすすめる
- ☆ 生ごみの自家処理を更にすすめる
- ☆ 資源ごみの分別を更にすすめる
- ☆ エコな売り方をしているお店を発掘、拡大して市民に知らせる
- ☆ 行政による事業系への対応をバックアップする

対応その1：ごみ減量講話キャラバン

2013年9月28日に新風台自治会で行ったごみ減量講話と生ごみ処理ワークショップ



ごみ減量の実践講話



実物の生ごみを使うワークショップ

ごみ減量講話キャラバン実績

	年月日	内容	対象団体	実施会場	参加者数
1	24.9.2	ごみ減量講話	星和城廻自治会	自治会館	25名
2	25.10.13	生ごみ処理機WS	高野台自治会	自治会館	20名
3	24.10.28	生ごみ処理機WS	西鎌倉山自治会	自治会館	20名
4	24.11.10 ~11	生ごみ処理機説明	梶原山町内会秋祭	町内会館	三々五々
5	25.1.20	ごみ減量講話	山崎町内会班長会	町内会館	60名
6	25.3.17	ごみ減量講話	西鎌倉住宅地自治会	自治会館	90名
7	25.6.22	生ごみ処理ワークショップ	高野台自治会	自治会館	15名
8	25.7.16	ごみ減量講話	減量化推進員	鎌倉学習センター	100名
9	25.7.23	ごみ減量講話	減量化推進員	玉縄学習センター	50名
10	25.7.24	ごみ減量講話	減量化推進員	レイ・ウエル鎌倉	55名
11	25.9.1	ごみ減量講話	星和城廻自治会	自治会館	40名
12	26.9.28	ごみ減量講話 生ごみ処理ワークショップ	新風台自治会	自治会館	60名
13	25.10.6	ごみ減量講話 生ごみ処理ワークショップ	西鎌倉住宅地自治会	自治会館	65名
14	25.11.1	生ごみ処理ワークショップ	西鎌倉住宅地自治会	自治会館	15名
15	25.11.2	ごみ減量講話 生ごみ処理ワークショップ	栄町町内会班長会	自治会館	20名

対応その2: 2Rエコスポット制度



対応その2: 2Rエコスポット制度



2Rエコスポット登録要件

- レジ袋、紙袋を減らします
 - 袋の有料・デポジット制(円)
 - 袋辞退で割引(円)
 - マイバッグ持参ポイント制など()
 - 飲料容器ごみを減らします
 - マイボトルへの商品提供
 - マイボトルへの割引販売(円割引)
 - マイボトルへの無料給水(給茶)
- 無駄な容器包装を減らします
 - お客様持参容器への商品提供
 - お客様持参容器への割引販売
- 必要な量を提供します
 - 量り売り、ばら売り(持参容器に対応します)
- 生ごみを減らします
 - 食べる量に合わせたサイズを用意します
 - 生ごみを自家処理をします
- その他にもあればお知らせください(リユースびん販売 など)

対応その3：家庭での生ごみ処理推進

- 市は9割の補助金をつけて推進しているが、普及が期待どおり進まない
- 購入しても使わない家庭や使うのをやめる家庭が少なくない
- 近隣の葉山町のモデル地区では、地区の全家庭が生ごみ処理機を導入した結果パッカー車による収集が軽トラック収集に替わった



町内会の秋祭りで各種タイプの説明



町内会館で行った生ごみ処理機実践指導

対応その4：多量排出事業所訪問

昨年市に同行して訪問した多量排出事業所38事業所について、ごみの発生量・資源化量・処分量は以下のとおりです。
なお訪問した事業所数は多量排出事業所の凡そ6割で、市内の総事業所数である凡そ7千に対しては非常に僅かな割合です。（単位：トン／年）

	燃やすごみ		燃やすごみ以外					総計
	生ごみ	塵芥	紙類	缶ビン	ペット	廃プラ	その他	
発生量	1,470	2,028	2,238	49	48	146	354	6,333
資源化量	595	38	2,238	32	48	97	132	3,180
処分量	876	1,989	0	17	0	49	222	3,153
資源化率	40.5%	1.9%	100.0%	65.3%	100.0%	66.4%	37.3%	50.2%

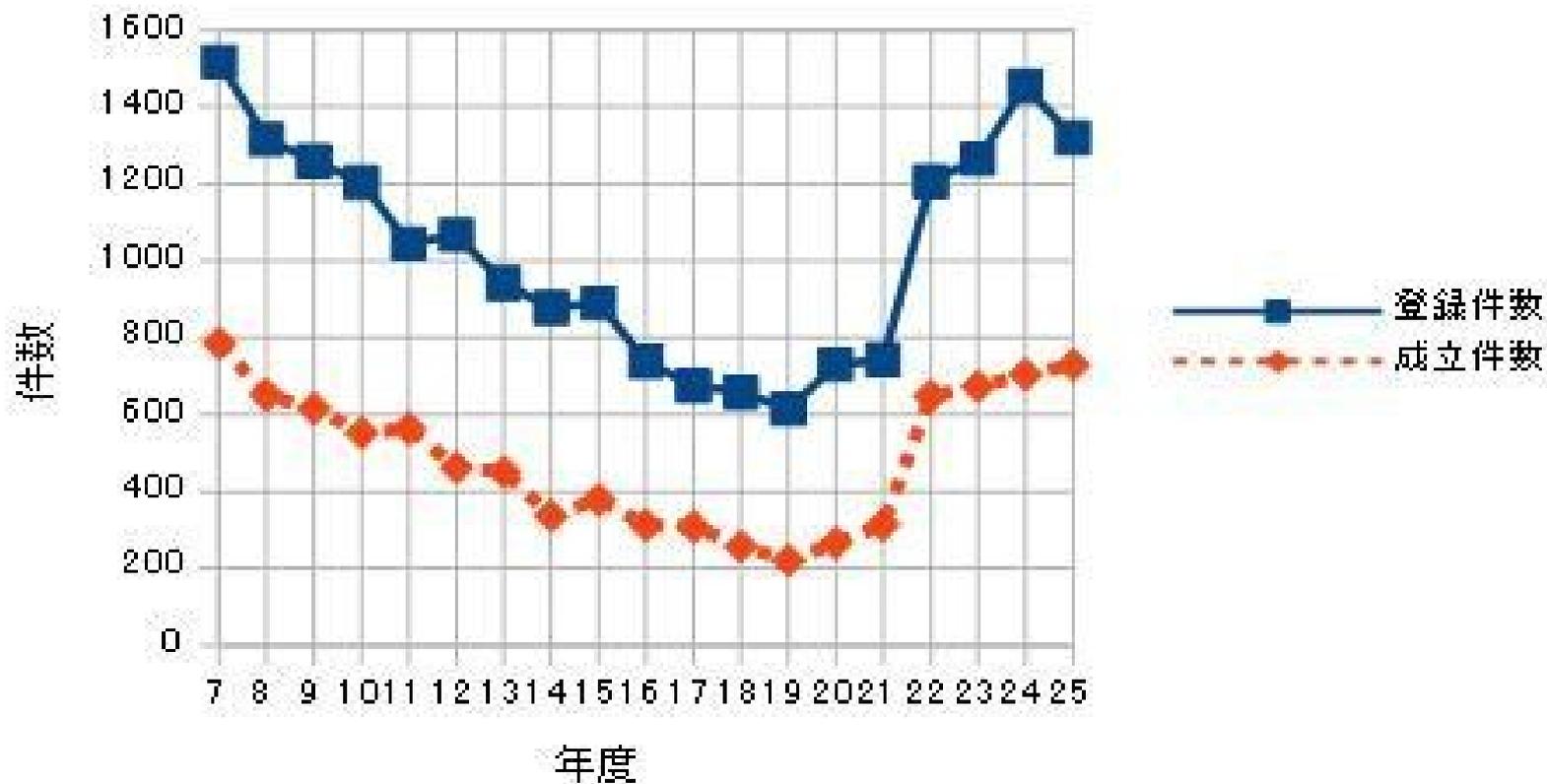
問題点としては、自らの事業行為の中で発生する厨芥や塵芥を、大手事業者といえども多くを市の焼却場に持ち込んでいること、ならびに塵芥類の中に相当量の資源ごみが混入していることでした。

対応その5:リユースネット



対応その5:リユースネット(続)

登録/成立件数



まとめ：市民団体に出来ること

- ★ 既にごみ減量努力を行ってきた自治体が更に減量を行うのは、絞った雑巾を更に絞るようなもの
- ★ これまで色々なしがらみや抵抗の点でトライしなかったことにも挑戦せざるを得ない
- ★ それらの中には、行政がやるより市民団体が行う方が効率的なものもあろう
- ★ 行政より身軽でフットワークの良い市民団体がパイロット事業として先行し、効果を確認したうえで行政施策に移行するような方向を模索していきたい

ご清聴をありがとうございました
折角の機会ですので、鎌倉の街も楽しんでいらしてください